

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年6月6日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム あったかハウス伊集院
所在地	鹿児島県日置市伊集院町下神殿1366番地1 (電話) 099-272-7577
自己評価作成日	平成25年4月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年5月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

～理念～
「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」
「あったか地域であったか交流、みんなで作ろうあったかの輪」
地域に密着したグループホームあったかハウス伊集院は、日本一やさしい施設を目指しています。
18名の入居者様が安心して笑顔の絶えない毎日を過ごせる様、元気いっぱいのスタッフで支えています。スタッフが心を込めて作る四季折々の食材を使った美味しい食事、昔ながらの手作りおやつは、施設の自慢の一つです。
当事業所の行事イベントの他、妙円寺詣りや地域や学校の行事にもお互いに参加させていただき、地域の皆様との交流も大切にしています。
協力医療機関として、ゆのもと記念病院、まえはらリハビリクリニックがあり医療との連携も十分にとる事ができ、24時間体制で診療も受けられ安心して生活を送ることが出来ます。

- ・ホームでの地域交流会は、地域との大切な交流の場で、地域住民も楽しんでいる。地区介護予防ボランティアとの交流や中・高校生の職場体験の受け入れ・地域の運動会参加等、利用者が地域で暮らし続けるために、地域社会との関係を大切にしている。
- ・生活歴で馴染みのある食生活にも取り組み、昔懐かしい郷土の「焼だご」づくりなどの手づくりのおやつや梅干などの保存食作り等、利用者と一緒に楽しんでいる。
- ・母体が医療法人で、24時間医療連携体制が取れており、緊急時の対応が可能である。
- ・利用者への職員の担当制や家族面会時の対応・「あったか便り」の家族への送付・家族へのアンケート調査など、家族との連携を細やかに行っている。
- ・運営に関して職員の意見が良く反映しており、職員の向上心に答えるために研修など自己研鑽の機会も多く準備されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り後に、理念、職員憲章を唱和し、またフロアや詰所の壁に掲示し日々の実践に取り組んでいます。	理念はフロアや詰所に掲示し、職員全員で唱和し、理念にそった介護支援を確認している。ミーティングでも話し合っ、共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	3ヶ月に一度、地域交流会を開催しております。地域の行事（運動会や鬼火焚きなど）にも参加の声を頂き参加しています。またボランティアの方に来て頂き話をしたり交流を持っています。	事業所の地域交流会に、地域住民が多数参加し、踊りやハーモニカ演奏・フラダンス等、にぎやかに交流している。地域の行事に利用者と共に参加したり、地域住民から野菜が届くなど、地区の介護予防ボランティアとの交流もある。中学生や高校生の体験学習の受入れも行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中高生の方の職場体験や福祉体験、実習等の受入を行なっています。また説明会にも参加をし介護予防ボランティアの受入も行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一度開催しています。行事の報告や状況報告を行い、質問に答えたりアドバイスや意見を頂き、今後活かすようにしています。また話し合った内容は記録に残し全職員が目を通しています。</p>	<p>会議は定期的に開催し、事業所や利用者の現状報告と外部評価調査の報告も行い、質問や意見交換をして、そこでの意見等は職員で話し合い、サービスに活かしている。議事録は全職員に回覧している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の連絡協議会に参加し、市町村担当者の方と日頃から顔を合わせる機会を多く持つように心がけ、事業所の取り組みや実情を伝え連携を取っています。</p>	<p>市の担当者とは、事務連絡や相談等で連携を取っている。市主催のグループホーム連絡協議会に出席したり、市の担当者や地域包括支援センター職員の訪問もあり、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所内での勉強会で身体拘束について勉強しています。身体拘束廃止に向け居室や玄関等に鍵をかけない自由な生活が送れるように利用者様の状態や動向を常に目配り、気配りで把握するようにしています。</p>	<p>毎月の研修計画で、身体拘束をしないケアについて、勉強会を行っている。日中の玄関は、鍵をかけない自由な暮らしを支援している。利用者が外に出たい時は、職員の連携プレイでそれとなく寄り添って、一緒に散歩したり、要望に対応している。また、言葉の拘束にも気をつけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のミーティングや勉強会で常に虐待にあたる行為を行なう事の無いよう、取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で行なう勉強会は勿論、法人内で行なわれる研修にも参加し対応できる様にしています。実際に後見制度を利用されている利用者様がいらしゃるので一層しっかりと状況を把握しご本人が安心して生活が出来る様に支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	不安等が無い様、十分な説明をし理解して頂く様にしています。重度化や看取りについての対応、医療連携体制については特に詳しく説明を行い納得された上で同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	御家族様には面会時やお便り等で何かないかお聞きし、その都度対応出来る様にし全スタッフが分かるようにしています。利用者様には言葉や態度からその方の思いを察する様に努めミーティングや申し送りで話し合い、日々のケアに役立てています。	利用者の意見は、日頃の会話や表情などから把握している。家族からは、訪問の際に意見を聞いたり、毎月「あったか便り」を送り、意見欄で気軽に返信を得ている。また、アンケート調査も行っている。出された意見は職員で話し合い、運営に反映させるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>一日の申し送りや毎月のミーティング時などにスタッフの意見や要望を聞く時間を設け話し合っています。また日々のスタッフとのコミュニケーションの中で話をしたりしています。話し合い運営に係る大切な事は理事長を交えた主任研修会で相談するようにしています。</p>	<p>管理者は、ミーティングや申し送り時に職員と意見交換をしている。個別面談も行っている。日常的に物品購入や医療的相談を受けている。代表者や管理者は、意見や提案を柔軟に受け入れ、運営に反映している。重要な意見は、管理者研修会に提起している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回ほど個々の思いや意見、要望など記録し本部へ提出しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新入職員は新人研修会を開き参加しています。法人内の研修や県で行なわれる研修は出来るだけ多くのスタッフが参加出来る様に機会を作っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連の事業所や他のグループホーム等と交流を持つことにより職員の意見や日々のサービス等、意見交換しサービスの質の向上に励んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前、ご本人、ご家族様とのコミュニケーションをとりながら本人の意向などを聞き取り本心で話ができる様な場を設け信頼関係作りに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時に一番困っている事、これからどうしたらいいか等をちゃんとお聞きしています。スタッフとの関係を良くし本人へのサービスを進めていきます。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>御本人がどういう状態かを見極めてスタッフで話し合いを持ち支援していきます。早急な対応が必要な時には出来る限り柔軟な対応が出来る様、努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で、親や家族の様に思い、共に生活をコミュニケーションをとりながら支えあっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活や近況報告を兼ねて毎月お便りを発送しています。面会時や電話等で情報交換をしたり年行事などに案内を送りご本人と一緒に過ごす時間を提供しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スタッフと共に家の様子を見に行き近所の方と話をされたり、面会に友人の方が来てくださった時には御家族様と同時に手厚くもてなす等、馴染みの関係が途切れないように努めています。	地域の運動会や鬼火焚きに出かけたり、近隣住民や昔一緒に働いていた同僚の訪問や利用者との関係の深い人の訪問がある。手紙の代筆をしたり、墓参りや馴染みの美容室へ同行したり、関係が継続するように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや茶話会などで集まり入居者様同士の関係が仲良く、円滑になるよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状や暑中見舞いなどの発送を行なっています。他の事業所へ移られた時には面会に行ったり御家族様には外で会った時やお便り等で困った事がありましたらお気軽に御相談くださいと声掛けしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で声掛けし把握するよう努めています。言葉や表情からその真意を測ったり、それとなく確認する様になっています。	入居時の聞き取りや日常生活の中で行動や会話などから思いを推し測り、記録に残し全職員で共有している。意思疎通が困難な場合、面会時や手紙等で家族から情報を得るようにして本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しつつ、これまでの生活歴などを御家族様やご本人にお聞きして把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の一人ひとりのリズムに合わせて、出来る事はお手伝いをして頂く（お茶碗拭きやおしぼりたたみ等）利用者様の行動や動作を感じ取り現状を把握するように努力をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各利用者様ごとに担当を決めて日々の行動を把握し気付いた点を情報収集し毎日の申し送り時やミーティング時に意見、情報交換を行なっています。ご本人、ご家族様には日頃より御意見や御要望がないかお聞きしその方にあったプラン作成をしています。	利用者の介護計画は、介護支援専門員と担当者が主体となって職員の気づきやミーティングの時の意見や情報交換を参考に計画を作成している。家族からも意見や要望を把握している。3ヶ月毎にモニタリングを行い、アセスメント、モニタリングを繰り返しながら、臨機応変に現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	あったか独自のモニタリング表や申し送りで職員間の情報共有を徹底しています。食事や水分量、排泄状況や本人の行動、日々の暮らしの様子や状態変化等を記録し介護計画の見直しに役立てています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様が安心して地域での暮らしが続けられるよう、ご本人、御家族様の状況や要望に応じて必要なサービスを利用できるよう、柔軟に対応し個々の満足度を高めるよう支援しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域交流会などの行事の際には社会福祉協議会の方よりボランティアの方を紹介していただいたりしています。利用者様が安心して地域での暮らしを続けられる様、警察や消防、民生委員さん等と連携を図っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ゆのもと記念病院やまえはらりハビリクリニックと医療連携を図り常に状況報告に努め体調の変化を早期発見出来る様、支援しています。他科受診の場合は基本的に家族同行の受診となっているが不可能な時には職員が代行するようにし利用契約時にその旨を説明し同意を得ています。	かかりつけ医の受診を支援している。体調の変化を早期に把握して対応し、家族に報告している。週に1回は協力医療機関からの訪問診療があり、医療連携ができています。他科受診の場合は基本的には家族同行であるが状況により職員が同行する場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携を結んでいる看護師に日頃の健康状態や医療面で個々の様子や状況などを報告、または相談しています。一人ひとりの健康管理や医療的な支援を行なってもらっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様のストレスや負担をなくすためにご家族と話し、相談しながらケアについて話し合いをするようにしています。職員が早く元気になるように見舞うようにしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人や御家族の意向を踏まえて医師、職員が連携を取り安心していただける様に取り組んでいます。御家族と話し合い利用者様の気持ちを大切に医療機関と連携を図り対応しています。	重度化や終末期に向けた方針は、意思確認書を作成して、利用者の気持ちを大切にしながら、家族や主治医・看護師・職員で話し合っている。状況に応じて医療機関と連携をとり、事業所でできる最大のケアを、家族とその都度話し合い、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員が応急手当の勉強会を実施し体験、習得する様にしています。消防署の協力を得て普通救命講習を受講し2～3年おきに講習を受け急変時や事故発生時に備えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回（その内1回は夜間想定、地震想定、施設内での火災が起きた時の想定など）消防訓練を行なっています。スタッフ、利用者様、地域の方にも参加の協力を得ています。また色々な災害に対しスタッフ同士で話をしたり消防の方に意見を伺い対策を立てています。	災害対策は年に2回、消防署の指導のもと夜間想定や地震想定を含めて訓練を実施している。地域住民との協力体制ができている。マニュアルを使用して、防災の研修にも取り組んでいる。また、消火器の使い方や消火器の点検・避難経路の確認など定期的実施している。災害用の水や食料等の備蓄も完備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の言葉掛けや自己決定しやすいように、プライバシーを損なわないように注意しています。記録等は外部者の目に触れない所に保管しています。	一人ひとりの人格を尊重して、職員はプライバシーを傷つけないように気配りしている。本人の気持ちを大切に、トイレ誘導の声かけや名前の呼びかた、オムツの取り扱い時等に、わかりやすい言葉でさりげないケアを行っている。個人情報保護に細心の注意をはらっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の表情等を伺い、それに対応出来る様、声掛けしご本人の希望に出来るだけ添えるように対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調、気分配慮しそれに添う様に個人を尊重した支援を行なっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の美容室の方に訪問して頂き本人の希望に応じた髪型にしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好き嫌いを配慮し、また食べてはいけない物、また形態をその方の状態に応じてお出ししています。出来る事は入居者様にも手伝って頂き、後片付けは一緒に行っています。	入居時に、利用者の嗜好を把握し献立を作成している。ゼリー食やミキサー食・おかゆ食等、個々に対応している。盛り付けにも工夫したり、食卓上で焼きながら食べたり、利用者のリクエストでおやつを作ったり、下ごしらえを一緒に行ったりして、食事が楽しめるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量を把握し、それに合わせて対応しています。見た目、食欲をそそる工夫等をお出ししています。様子などを伺いながら、その都度水分補給を行い、入浴後などは特に来をつけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る所はご本人に口腔ケアをして頂き、磨き残し等はスタッフが再確認しています。また訪問歯科の先生より個別に合わせてアドバイスを頂いています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排便、排尿の訴えがほとんどない為、長くトイレに行かれない時等は、声掛けしたり、またトイレに座る事で排泄を促しています。朝のトイレ誘導を行なう事で排便の習慣がつき気持ちよく排泄が出来る様、支援しています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、職員全員で共有している。朝食後にトイレ誘導を行い、排泄の習慣ができることを支援している。オムツ使用者もトイレで排泄をこころみている。オムツからリハビリパンツに移行した利用者がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	スタッフが介助しながら水分補給をしたり、体を動かし便通が良くなるよう手助けをしています。また料理の面でも工夫しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日の入浴の声掛けを行い、本人の希望に合わせてゆっくり入浴していただいています。	入浴は、本人の希望に合わせて、いつでも入浴できる体制でゆっくりとした入浴支援をしている。足のむくみのある利用者には足浴もできる。入浴剤は自由であり、個々に応じた入浴支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの利用者様に今どうしたら一番いいか等を考えて支援しています。日中に軽い運動をしたり天気の良い日には外気浴をしたり夜は安心して眠れる様、支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前を確認しながら複数の職員で行うようにし誤薬防止に努めています。現在服用されている薬の種類や用量が解る様、目の届く所に貼り変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の話や昔話を聴いたり、今までの仕事の話や良かった事、大変だった事などをお聞きし、日々の生活の中で生かせるようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	菜園や花壇がある敷地内では天気の良い日は花見や茶話会を行っています。ご家族様等の協力を得て、外食や墓参り、自宅への外出などされています。	利用者の体調や天候を配慮し、近隣を散歩したり、敷地内の自家菜園や花壇を觀賞したり野菜の生育を楽しんだり、庭でお茶会をしている。家族と一緒に、外食や墓参り・自宅訪問等に出かけたりもしている。年間計画でコスモスの花見等にドライブ気分外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様の協力を得てお金をお預りしています。欲しい物がある時には希望の品を買ってきています。管理が出来る方には少額のお金を持っていただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎月のお便りをお出しして近況をお伝えしています。また面会時にはゆっくりとお話出来るよう対応しています。希望時にはスタッフが利用者様に代わり手紙を代筆しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた居間の雰囲気作りや、また窓か外を眺めていただける様、心休まる空間作り（庭に出来た果物や野菜を眺めていただく等）に努めています。入居者様同士がコミュニケーションを取りやすい様、話題となるような物をフロアに飾ったり工夫しています。</p>	<p>フロアは天井が高く開放的で明るい。玄関やフロアに花が飾られ、壁には利用者と一緒に作った手作りカレンダーやはり絵が飾ってある。窓から見える庭には、花や野菜などの生育状況が眺められる。利用者がゆっくりと暮らしていけるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々の部屋でゆっくりしていただける様、写真を貼ったり思い出の品を置いたりしています。フロアでは新聞、本などを読まれたり各々が自由に過ごされています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>昔から使っておられる馴染みの深い物をご家族様に持ってきていただいています。またご本人、ご家族の写真を飾ったりしています。</p>	<p>居室には、テレビや家族写真・位牌等、馴染みのものが置いてあり、壁には行事の写真や自作の作品が張られている。クローゼットには何時でも外出できるように衣服がつるされ、利用者が安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者様が、どこで何をしているかを常に把握し、個々の能力に合わせた仕事（台所の手伝い、おしぼり巻きなど）をいただいています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない